<薄暮の交通事故の被害・加害を防ぐ>

行雲流水

No.97 令和3年9月14日発行

事故の未然防止で、安心安全な生活を「その2

校長 寒河江 正人

もう一つ、気をつけて欲しいのは、「登下校時の交通事故の未然防止」だ。

生徒諸君が利用する「**自転車**」は、便利な乗り物だ。

だが、中高生の「**自転車**」と「**車」「自転車」「歩行者**」による「**接触・衝突事故**」が多い。 **使い方・乗り方しだい**で、便利な乗り物は、**危険な乗り物**にもなり得るのだ。

また、事故の相手は、「大人」とは限らない。

君たち中学生よりも「小さい子ども」の場合も、「高齢の方」の場合もあるのだ。 さらに、事故は、君たちが「被害者」になる場合ばかりとは限らない。 自転車は、「軽車両」だ。君たちが、重大な「加害者」になる場合だってあるのだ。 その指害賠償の請求額は、9.00万円を超える自転車による事故も発生している。

交通事故は、被害者の人生も、加害者の人生も、狂わすことになりかねない。 慣っても、慣っても、慣いきれないことにもなりかねないのだ。 自分だけは事故に遭わない、自分だけは事故を起こさない、というのは「油断」だ。

これからの季節、「**夕暮れ時**」特に「**日没までの薄暮の時間帯**」は、特に危険だ。 今週の**日没(日の入り)時刻**は、**17時40分前後**とのこと。ちょうど**下校時刻**と重なる。 慣れた道でも油断をせず、以下の内容を必ず守って、交通事故を未然に防いでほしい。 君たちには、決して「**被害者**」にも、「**加害者**」にも、なってほしくない。

- ① 「スピードを出し過ぎない」こと。※「思いやり」「ゆとり」の「ゆっくり走行」を!
- ② 「一時停止・安全確認(左右・前後)を厳守する」こと。
- ③ 「横断歩道や通りを渡るときには、必ず自転車を引いて渡る」こと。
- ④ 「ヘルメットを着用する」こと。※頭部を守ることが「命を守るカギ」だ!
- ⑤ 「**夕方(薄暮の時間帯も危険)は、早めに点灯する」こと。**※相手に見えるのが大事。
- ⑥ 「反射材を身につけて、相手から見つけやすくする」こと。※相手に見えるのが大事。 (ヘルメット・衣服・カバン・通学用外履きなどに貼っておくと効果的だよ。)

「自分の身は、自分で守る。」「油断すれば、危険が迫る。」ということを忘れるな!!